

8月6日(日)発行



ほぼ

# 日刊サマ-ミュ-ザ

Hobo Nikkan Summer Muza



## 注目のオルガニストが奏でた 壮麗なバッハ



開演前、ロビーでの「オルガン・カフェ」風景から



8月5日(土) 真夏のバッハII ©青柳聡

8/5 真夏のバッハII

### お客様の声から♪

パイプオルガン単独のコンサートは初めてなので音色の多様さに驚きました。先日はOEKの前衛的パイプオルガン、今日は古典と、今年のミュ-ザのプログラムは本当によくできていると思います。また、パイプオルガンを聴きにいきたいと思います。パッサカリア圧巻でした。音に包まれる感覚、ずっと続いてほしいと思う時間でした。ミュ-ザはパイプオルガンを聞くにもいいホールですね。(49歳・白猫) /やはり、大きなオルガンの迫力を感じました。又、アンサンブルでは、小さなオルガンの優しい音色も楽しめました。飾らない富田さんのお人柄も感じ、ダイナミックさと繊細さを併せ持つ、素晴らしいオルガニストだと思いました!(58歳・匿名) /とても良かった、とくに2つのバイオリンのための協奏曲は、定番ゆえに、難しい曲だと思うが、とても心に響いてよかったと思います。このホールはとくにオケにはすごくよい反面、ミニコンサートのように入人数の催しですと、音の反響がいまいちとっていましたが、今回はとてもよく感じました。(35歳・スズキマサ)

#### 【明日の朝刊休みます】

明日(8/7)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は8/8です。

「バッハのオルガン作品をたくさんの方に」という、ホールアドバイザーの松居直美の企画で開始した「真夏のバッハ」。第二回は、2016年に第20回バッハ国際コンクール[ドイツ・ライプツィヒ]のオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞したオルガニスト、富田一樹のリサイタル。開場中はポジティブ・オルガンを使用して「オルガン・カフェ」も行われた。バッハのコーラルをはじめ、バッハに影響を与えたジーフェルトやスヴェーリンクの作品などを弦楽アンサンブルと共に披

露。あたたかい温もりを感じさせる音色が、窓から見える夕暮れの景色と絶妙に重なり合い、本編の素晴らしい「序曲」として機能していた。

本編ではストップ(音色)とパイプの総数で日本最大級を誇るミュ-ザ川崎のパイプオルガンの響きを最大限に活用した、幅広いダイナミクスによるドラマティックなバッハの世界が展開。バッハのコーラルやアリア(「管弦楽組曲第3番」より)では、照明を限界まで落とした会場内に溶け合う繊細な音色が響き、ヴィヴァルディの協奏曲の編曲作品や

バッハの力作「パッサカリア ハ短調」では轟く低音を活かした演奏により、 Fresco画を思わせる、壮麗な世界が広がっていった。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとしても活躍する奏者たちによる弦楽アンサンブルも見事な華を添えた。各奏者の音色の個性を活かしながら絶妙に溶け合うことで創り出される格調高い音色が魅力的で、特に独奏も務めたヴァイオリンの若松夏美の繊細な音色は記憶に残るものであった。

長井進之介 (ピアニスト/音楽ライター)

本日 8/6(日)

コンサート前のお楽しみ♪

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 at ミュ-ザ川崎シンフォニーホール

プレ 14:30~45 鈴木秀美によるプレトーク

## ▶▶NEXT!! フェスタサマ-ミュ-ザ

-こどもフェスタ- 東京ニューシティ管弦楽団 ファミリーコンサート

《親子で冒険に出かけよう!》

8/8(火) 15:00 開演 (14:15 開場) ミュ-ザ川崎シンフォニーホール

指揮とお話/曾我大介 歌と語り/市原愛・針生美智子(ソプラノ)、吉川健一(バリトン) 三人の童子/東京ネバーランド合唱団員\*

プロコフィエフ: 音楽物語「ピーターと狼」(楽器紹介付き) モーツァルト: オペラ「ふしぎな魔法の笛」ハイライト(歌劇「魔笛」より)\* モーツァルト: 交響曲第41番「ジュピター」よりほか

## 当日券あり

全席指定 200枚程度 大人: 3,500円 ヤング: 1,750円 (25歳以下の学生) こども: 1,000円 (4歳~中学生)

■電話予約なし ■4階カウンター 10:00~13:30まで販売 ■当日券カウンター 14:00~販売 ※13:30~14:00の間は販売を休止いたします

8月5日(土) イッツ・ア・ピアノワールド ©青柳聡

# 小川典子「イッツ・ア・ピアノワールド」 小さな聴衆たちが 前のめりで見入る！

**客** 席の9割が親子連れ！  
小川典子の「イッツ・ア・ピアノワールド」は、名称を変えながら、2005年からほぼ毎年続いているサマーミュージックの目玉企画だ。ステージ上に座った子供たちに間近で演奏を聴かせるというスタイルはすっかりおなじみとなった。小さな聴衆の数は年々増えていて、最近は一度には乗りきれないので前半と後半で入れ替制になっている。この日も、目測でざっと前半100人、後半140人の子供たちが、目の前で繰り広げられる演奏に、文字どおり前のめりで見入っていた。「始めた頃は走り

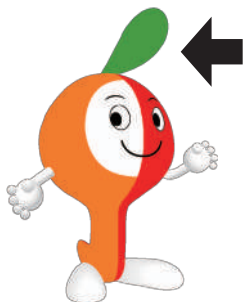
回ったり泣き出したりする子もいましたが、最近ではみんな、すっかり成熟した聴衆です。そばで弾いていても、かきりとも音がしません」と小川。もちろんそわそわし始める子もいるのだけれど、プログラム中もっとも長い菅野由弘(写真左下)の現代曲でも、若い聴き手の興味が途切れることはないようだった。まことに頼もしいかぎり。来年11月の浜松国際ピアノコンクールの審査委員長に就任した小川典子。コンペティターの中には、もしかしたら、これを聴いてピアノを始めたという若者がいるかもしれない。

宮本 明(音楽ライター)



## QUIZ! なるほど ミュージック

#13  
ミュートンの特技！



### 【問題】

「かわさきミュートン」は音楽のまち・かわさきのマスコット。ミュージックである日オーケストラが演奏していると、ひとつの元気な音符が飛び出してきて、ミュートンが生まれました。さて問題です。ミュートンの頭についている緑色のものはなんでしょう？ ★ミュートンからヒント：「いつも空を飛びながら川崎の音楽イベントを探しているトン♪」

→こたえは、この紙面の下(枠外)へ！



パートナーショップのご紹介  
**エンジョイ!  
川崎!!**  
Enjoy Kawasaki

中華料理  
煌蘭

川崎DICE 6階

パートナーショップリストP.15

サマーミュージック特典 チケット提示で  
**1ドリンクサービス**(ソフトドリンク)  
※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

川崎でちょっといいお店ない?と聞かれたらおすすめできるのがこちら。オリエンタルで落ち着いた雰囲気の内、洗練された中国料理を味わえます。お昼のレディースコース(1,500円)はサラダ、青椒肉絲、春巻、豆乳入り冷やし担々麺、ちまき、デザート2種。品数はたっぷりですが一皿の量は控えめなので、無理なく色々な料理を味わえます♪チケット提示で食後のコーヒーを頼み、リッチなランチタイムを過ごしました。8月31日まで3,980円でお好きな料理をお好きな

だけテーブルで注文できるオーダーバイキングを実施中だそうです。夏の宴会にぴったりですね!(行きたい!)  
広報営業課 えだ



### 友の会キャンペーン実施中

#### 新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/11まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

#### ミュージック友の会

- ・年会費3,000円
  - ・チケット割引・優先予約などお得な6つの特典
- 詳しくは友の会入会窓口(ホール・歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

#### 現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演のチケットをご購入の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】1本をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください。



### スタッフ 日誌

当日の感動をすぐお届け!!

毎日  
**日刊サマーミュージック**  
Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーは  
ミュージックホームページ  
でも公開中!

http://www.kawasaki-sym-hall.jp/

事業部長 山崎

サマーミュージックも本日の公演で五分の四が終わり、フィナーレ公演までいよいよ最後の胸突き八丁に差し掛かります。ミュージック最大のイベント「フェスタサマーミュージック」ですが、ここ数年、来場者は増え続け、すっかり夏の風物詩になりました。お客様が多いと各オーケストラも張り切り、競って特色を出して活気あふれる演奏を繰り広げることでもたお客様が来てくださる、そんな好循環が生まれてきました。ミュージックとしても、「ほほ日」の発行や記念グッズの開発など工夫を凝らして、公演の感動をお客様と共有できることを願っています。

ミュージックが目指すのは、最高峰の音楽芸術を創造発信することにも、音楽の楽しさを味わい、誰もが文化芸術に親しめるホールです。このようなミュージックの運営方針をホームページに掲載いたしましたので、ご覧いただけましたら幸いです。